

被爆者のいまを伝えよう フォトグラファー体験

Studio One Nagasaki

本事業は、昨年9月より令和3年度長崎市平和の新しい伝え方応援事業の一つとして選定され実施してきた、若い世代を対象としたワークショップ形式の事業です。これまでに8名の参加者がそれぞれ、被爆者への聞き取りと写真撮影を体験しました。参加した若者たちは撮影を通して被爆者の想いに触れ、作品づくりを通して伝え方を学びました。

この事業を実施しようと思ったきっかけ

年々被爆体験を伝えられる方が減っていく中で、被爆者の方のお話に直接触れる機会をつくり、特に若い世代で被爆継承の担い手を増やしていきたいと思ったので、ワークショップ形式の事業を始めました。

提案事業を分かりやすく伝えるために工夫したこと

参加者となる若者の視点で作品をつくり、若者が主体的に継承しているような構成にしました。若者自身が撮影した写真のほか、聞き取った内容や被爆者のプロフィール、そして事業を通しての感想やこれからの目標をパネルにして展示しました。

また、事業の進捗状況を逐一SNS等で報告してきました。被爆者との交流や作品づくりを通して若者自身が成長していく様子も伝わればと思います。



この事業の新しさ！

- ・プロの写真家が若者の育成をすること
- ・被爆者の方への取材のテーマが「働く」な点が、新たな層へのアプローチにつながる

取材

事前にカメラのワークショップを行い、「働く」をテーマに被爆者の方に取材しました。



作品展

参加者が集まって交流する場を設けることは残念ながらできませんでしたが、参加者による個別のギャラリートークを行いました。



今後の展望

参加者の同世代の若い人々に今回の成果やこの事業について知ってもらいたいです。今回制作した作品については今後、学校や公共の場所でも展示をして回り、被爆継承活動に関心を持ってもらうきっかけを作っていきたいと思っています。

また、今回のようなワークショップ形式の事業を今後も続けていくため準備中です。